

## 編集室

### 「広島県医師会速報」

#### デジタル化編集の歩み

長い歴史と伝統を持つ広島県医師会速報が、平成14年4月5日号からデジタル化編集され、生まれ変わって発行されることになりました。

平成10年4月、新会長真田幸三先生のもと、新しい執行部が組織され、広報委員会も楨殿 敦常任理事を中心として、青山 喬(呉)、折田洋二郎(福山)、高田佳輝(広島)、武内成治(広島)、田中一誠(広島)、山岡信明(東広島)、松本隆彦(安佐)の各委員が就任しました。5月14日、第1回広報委員会が開かれ、楨殿常任理事より、広島県医師会速報がインターネットを駆使して電子編集できないものかとの提案がなされました。以来、月2回の委員会を開催し、医師会情報のデータ区分の割り振り、入力方法などを検討しました。平成11年1月6日、広島県医師会総合医療情報センターがオープンし、委員



へはP H Sとパソコンが貸与され、それを利用してのデータ閲覧が自宅で可能となりました。

平成12年4月からは、広報委員会が細分化され、速報デジタル化専門委員会となり、高田委員長のもと、折田が留任、石井哲郎(呉)委員が新たに就任、月1回の委員会を開催し、データのカテゴリー・細区分わ

け、紙面のレイアウト、各号のパターン化などを検討しました。平成13年4月からは、委員長に折田が就任、高田副委員長、武内委員に、中山純維(安佐)、河村りゅう(広島)委員が新たに就任し、月2回の委員会を開催、6月5日号より本来の速報発行と平行して、デジタル化速報の作成が始まりました。そして今まで様々な検討を加え、ここにデジタル化速報第1号の誕生を迎えた次第です。

これまで、このプロジェクトへご参加いただいた多くの皆様に感謝申し上げますとともに、速報が益々充実し、会員の皆様に喜ばれるものへ進化することを祈念し、改定号のご挨拶といたします。

広報・情報委員会速報デジタル化専門委員会 委員長

折田 洋二郎

## 編集室

### 「広島県医師会速報」

#### 改定号の発刊」

平成10年3月の代議員会において県医師会第12代会長に選出された真田幸三現会長は就任の挨拶の中で5つの重点施策を表明、其の一つが「情報化の推進」である。会内(会館内および医師会内)においては、関係者が何時でも、何処でも、必要な情報を迅速に入手し活用できるシステムづくりを、また会外においては、医療、保健、福祉に関する情報をできる限り広く提供できる手段を確立し、情報化を通して新たに可能となる施策を模索しようとするものである。このため、執行部内にプロジェクト委員会が設けられ、情

報技術(IT)の基盤整備に着手、それに併せて広島県医師会速報のデジタル化編集の企画も始まった。会内外から毎日入手される膨大な情報をデジタル化しカテゴリー別に入力、その内から編集委員が端末を通して記事ソースを選別し、編集会議の議論を経たのち印刷所に送るというシステムである。この手法により、ホームページでの閲覧やメール配信、医師会速報のペーパーレス化、データベースからの情報提供が可能となる。速報印刷費や通信費といった経費の節減も含めると、この施策の先見性については論を俟たないところであろう。

このプロジェクトへ4年間にわたりご尽力いただいた委員や

事務局の皆様には心からのお礼と感謝を申し上げます。また昭和27年から前回号まで長年にわたり編集や印刷にご協力いただいた印刷所の皆様には心から深謝申し上げます。綿々と続いてきた県医師会速報の編集において、この度の見直しは一大改革となつたが、改定号である本号は、さらなる社会変革における改革の第一歩と言えなくもない。より良い国民医療の確保のために、この施策が寄与し、今後とも絶えないことを願って止まない。

真 殿 敦

広島県医師会広報・情報担当理事

広島県医師会速報 2002(平成14年)年4月5日

発行所 / 社団法人 広島県医師会  
〒733-8540 広島市西区観音本町一丁目1番1号 TEL.082-232-7211 FAX.082-293-3363

編集者 / 広島県医師会会長 真 田 幸 三

印刷所 / レタープレス株式会社  
〒739-1752 広島市安佐北区上深川町809番地の5 TEL.082-844-7500 FAX.082-844-7800